

コンテ

2008.12



経営は凧あげだ

松下幸之助翁は、凧あげは経営そのものだといわれました。

『凧をうまく上げる人がいれば、落ちる人もいます。

上げる人が社長で、糸が経営理念、凧が経済です。さらに、凧が会社で、骨が幹部、紙が社員です。凧をあげている社長の足もとが市場、マーケットです。

結局は経営とは社長の力量次第です。事業がうまくいかないのは、社長の心の中に問題があるのです。』

凧を上げるのが社長、凧が会社でその間をつなぐ糸が経営理念ということばにとっても納得しました。経営理念がなければ決して凧は上がらないし、それどころか社長の思いとは別のところに飛んで行ってしまうということです。

さらに、リストラについて松下幸之助翁は次のように言っています。

『社員を辞めさせるということは、凧の紙を破るのと同じこと。また幹部が辞めるということは、骨が折れてしまうのと同じことです。紙に穴があいたり、骨が折れたりすると社長がいくらうまく凧を上げようとしても上がるはずはありません。

経済という名の凧が吹かない時に凧は上がりません。凧がなかったら、凧を起こしたらいいのです。どのようにして凧を起こすかを考えるのが社長の仕事です。』

現在世界的な大不況が日本を襲っています。まさに経済という名の凧が全く吹かない状況です。しかし、松下翁は凧を起こすのが社長の仕事だと喝破されています。凧が吹かなければ糸を持って走ればいいのです。

空高く凧を上げるために、社長と社員が一緒になって荒地の上を力強く走りたいものです。

ハタコンサルタント株式会社
代表取締役 降旗 達生

ISO9001 : 2008 の動向 第3回

ISO9001;2008 への移行要点の解説をお伝えする、3回シリーズの最終回です。



今回は、ISO9001 : 2008 の第3回目です。今回は具体的な改訂が加わる条項と、その理由についてお話ししようと思います。まず、“5.5.2 管理責任者”では、「組織の管理層の中から管理責任者を任命すること。」となります。これは、外部

のコンサルタントの社員が審査のときだけ、受審企業の制服を着て審査を受けている企業が見られたことに起因しています。次に、“7.5.5 製品の保存”では、「保存のための識別、取扱い、包装、保管、保護を含めること」とありますが、「組織はこのうち適用できるものを採用してよい。」と柔軟に対応できるようになります。

比較的多くの改訂がなされるのが第8章です。まず“8.2.3 プロセスの監視及び測定”では、「計画どおりの結果が達成できない場合には、製品の適合性の保証のために、適宜、修正及び是正処置をとること。」とありますが、太字部分の文言が

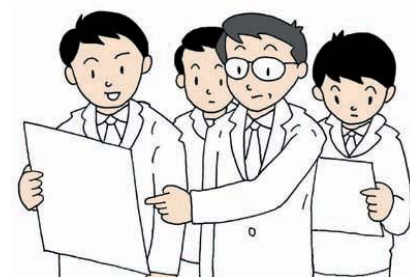
削除されます。これは、品質目標の未達の可能性がわかった段階でとられる処置なのですが、品質目標の中には、特別「製品の適合性」に直接結びつかない場合などがあるためです。

“8.2.4 製品の監視及び測定”では、「記録には、製品のリリース（次工程への引渡し又は出荷）を正式に許可した人を明記すること。」とありますが、（ ）内の文言が削除されます。これは、業種によっては、いきなり最終検査という場合も考えられ、次工程という概念が存在しない企業もあるからです。これは“8.3 不適合製品の管理”の「b」特別採用の中に出てくる（次工程への引渡し）も同

様に削除されます。

なんども繰り返すようですが、ISO9001 : 2008 の真意は、1994年版から、がんじがらめのまま2000年版に引き継いだ企業が多く、「ISO はもっと柔軟に考えていいですよ。」ということを実感していることに他なりません。

品質・環境主任審査員 山口 工



資格案内

「コンクリート診断士」

コンクリート診断士とは・・・

「コンクリート診断士」は、社団法人日本コンクリート工学協会が実施する試験に合格し、合格者の申請により登録された者に与えられる称号です。

コンクリート構造物の診断・維持管理に関して、一定水準以上の知識と技術を有する技術者を認定するものです。

受験資格は、コンクリート技士よりも厳しく設定されており、試験前に行われる2日間の講習を受講することが必須であるほか、受験資格の区分によってはコンクリート診断士試験に加え、コンクリート試験も課せられています。

受験者数はコンクリート技士試験の1/2程度で、受験者数はコンクリート技士試験の1/2程度で、合格率も厳し

いものですが、維持管理時代の資格として期待され、大きな注目を集めています。

活躍分野

コンクリート診断士は21世紀とともに誕生した資格ですから、取得者数はいまだ十分な数には達していません。今後も一定の割合で増加していくと思われます。

しかし、それ以上に維持管理

が必要となるストックが増大していくので、コンクリート診断士が必要とされる機会も、その役割も増大し続けることが予測されます。

コンクリート診断士を受験する場合は、4月に行われる事前講習会に参加する必要があります。

事前講習会の申込期限は、**2009年1月10日～31日(予定)**です。

試験日	2009年7月(予定)
申込日	2009年5月(予定)
受験料	10,500円(税込み)
試験地	札幌、仙台、東京、名古屋、大阪、広島県、福山市、高松、福岡、沖縄

社団法人 日本コンクリート工学協会

〒105-0001
東京都千代田区麹町1-7
相互半蔵門ビル12F
TEL 03-3263-1571
FAX 03-3263-2115
<http://www.jci-net.or.jp/>

詳しくは、こちらまで。

